

志津
まちづくり通信

第8号

発行：平成26年3月15日
志津地区まちづくり協議会
(志津市民センター内)
〒525-0041
草津市青地町561番地
TEL・FAX 077-562-0047
HP:<http://machikyou.jp/shizu/>

地域ふるさとづくり
「志津の歴史」と「自然の美しさ」発信事業 **シリーズ2**



山寺町「十二将神社」 元龜の兵火で焼失するが、1687年（貞享4年）村人が薬師堂（現 祥光寺内）を再建し、同時に再興された神社。
【祭神】 應神天皇 【創祀】 年代不詳

平成26年度
「志津(地区)まちづくり協議会」
事業日程(予定)

- ・ 定期総会 平成26年4月26日(土)
- ・ 平和祈念戦没者追悼事業 平成26年8月2日(土)
- ・ 敬老のつどい 平成26年9月15日(月)
(前後1週間以内に各町内会ブロックごとに開催)
- ・ 志津ふれあい区民運動会 平成26年10月19日(日)
- ・ 志津ふれあい広場 平成26年11月16日(日)

★「志津ふれあい広場」の★
ボランティア募集

企画・立案から、かかわってもらえるボランティアを募集します。あなたも地域で活躍してみませんか？

連絡先：志津(地区)まちづくり協議会
(志津市民センター内)
TEL077-562-0047

『災害に強いまちづくり』をめざして!!



防災・防犯・交通部では、1月25日（土）に志津市民センターの大会議室において「志津地区自主防災研修会」を開催しました。

当日は滋賀県南部土木事務所河川砂防課、草津市危機管理課・河川課、湖南広域消防局南消防署から計6人の方々を招き、合計42名の参加を得て全15町内会より活動報告をいただきました。特に全国でも初めてとなる「特別警報」が発令され、志津の一部地域に「避難勧告」が出されました。実際に水害が発生した台風18号の襲来により、特に水害やそれに対する防災活動について発表いただきました。また、災害が発生し「避難勧告」が出た町内会からは、生々しい状況や対応に苦慮された報告があり、招請した滋賀県や草津市の担当者にも強く訴えていただきました。草津川の平地河川化が志津地区の悲願であり、今回実際に被害が発生した支流も含めた草津川や伯母川について、様々な要望や対策を細部に至るまで熱心に要請をいたしました。それに対し県や市からは説明がありましたが、今後の対応を注意深く見ていきたいと思えます。被害も無く、「避難勧告」が出なかった町内会の方々も、他人事では無いと強く関心を示されました。

また、暴風雨の夜中に、避難を呼び掛けたり、正確な情報を住民の方々に漏れ無く正確に伝えたりすることの難しさ等、改めて認識しました。これには、一町内会・自治会や自主防災組織だけでは対応しがたい実情が浮かび上がりました。

研修会の後半には、県や市と参加者の間で、防災について意見交換を行い、予定した時間を越えて活発な議論を行い、参加者一同、防災に対する認識を新たにしました。発表いただいた各町内会・自治会、ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

最後に、滋賀県や草津市では、災害やその兆候などがある時に、メールで住民に知らせる「災害情報メール配信サービス」を行っています。残念ながら草津市では、3千余人しか利用が無いとのこと。私も今回の台風18号に関する情報をこのメールにより、早く詳しく知った者の一人です。利用するには、事前にそれぞれに登録する事が必要です。特に、携帯電話やスマートフォンでの利用をお勧めします。以下にメールの登録方法や問合せ先などを載せますので皆さまのご利用をお勧めします。



●草津市「災害情報メール」

kusatsu.kikikanri@emp.ikkr.jp に

空メールを送信

担当：危機管理課 ☎077-561-2325

●滋賀県「しらしがメール」

<http://www.pref.shiga-info.jp> から

entry@pref.shiga-info.jp に

空メールを送信

担当：情報政策課 ☎077-528-3381

詳しくは、それぞれのホームページをご覧ください。

(防災・防犯・交通部 青木 光)



わが町の活動状況



馬場町の紹介

馬場町町内会の活動について、高齢者ふれあいサロン、夏まつり、敬老のつどい、秋の文化ふれあい祭りなど開催し、町内の皆さんが7組に分かれて、それぞれ模擬店を出し、楽しく有意義なコミュニティ活動ができました。また、防災については、草津市危機管理課の指導を受け、ハザードマップ作りに取り組みました。馬場町には、天井川と言われる草津川があり、豪雨の時には増水し、川が決壊する危険性があります。昨年の台風18号では、主に土砂崩れが約30ヶ所に発生し、その対応におわれました。馬場町にとっては、未曾有の災害であり、自然の脅威を痛感しました。多くの皆さんが力を合わせて、復旧に取り組むことができて、地域の絆の大切さを再認識しました。



(馬場町町内会長 中井 守)



山寺町の紹介

午年の今年、山寺・山寺新田町で5月5日に6年ぶりに、小槻大社例祭の当番を務めます。例祭の歴史は古く、江戸中期頃の記録が確認されており、近隣の5集落が交代で継続しています。

内容は、2～14歳の子供達も踊り・お囃子・榊持ち等に奮闘し、35～60歳の男子が音頭とり・台傘持ち・唐櫃持ち等に技を發揮します。

また、成人男子は大社からお旅所まで非常に重たい神輿を担いで往復します。

本祭りは、滋賀県の「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」に選ばれており、是非一度ご覧ください。



(山寺町町内会長 奥村 毅)



山寺新田の紹介

1645年(正保2年)、京都の町人・野村九郎兵衛ら3人によって開発されたのが、山寺新田と云われています。山寺新田町内会は、志津地域の東の端に位置し、山と田んぼに囲まれた世帯数45軒の小さな町で、本町内会においても高齢化が進んでいます。この小さな町に高齢者や障害者の施設が、4つあります。毎年11月3日(文化の日)に山寺・山寺新田町内会合同で、「山寺町民のつどい大会」を山寺会館を中心に開催しています。

昨年40周年を迎えた歴史あるこのつどいは、町民による手作りで実施しています。毎年、各施設の方々を招待して、交流が深まり、大変喜ばれています。

今後もこのつどいを継続していくことで、さらに地域交流を図っていききたいと思っています。



山寺町民のつどい大会

(山寺新田町内会長 山口 茂)

志津のまちかど

志津地区まちづくり協議会の組織・団体の活動を紹介するコーナーです。



親子で料理を作って、食べよう！ 「食育教室」

志津地区健康推進員連絡協議会

県・市は、『健康いきいき21（健康しが推進プラン）』を進めており、子どもから高齢者まで「私たちの健康は私達の手で」をスローガンに取り組んでいます。

今回は、親と子どもによる料理を作る「食育教室」を1月25日（土）に志津市民センターにて開催しました。レストランさながらのバイキング形式とし、健康推進員の用意したメニューに加え、親子には子どもに人気のハンバーグや野菜たっぷりのスープづくりで腕をふるってもらいました。

これら料理を主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物の5グループに分かれているお皿（バランスプレート）に上手に盛り付けて、楽しく語らいながら食べることができました。

この料理実践を機に、料理を作る楽しさ、食べることの大切さを覚えてもらえれば幸いです。



「ジュニアリーダー養成講座」を開催！

志津地区子ども会指導者連絡協議会

平成25年度第4回ジュニアリーダー養成講座を2月8日（土）大雪の中、志津市民センターで開催しました。4年生～6年生を対象にした、ジュニアリーダー養成講座は、リーダーになるために自分たちで学び、協力し合う仲間づくりを目標としています。

今年度は、キャンドル作り、豚汁とフルーツポンチ作り、ヨガ教室、工作教室を行いました。毎回好評でたくさん子ども達が参加してくれています。子どもたちは、受講していく中で、人の話をしっかり聴けるようになり、後片付けや掃除も仲間で協力し合って、スムーズに出来るように成長しました。



全4回の活動の様子を、子ども達が新聞にまとめ、志津市民センターと志津小学校に掲示しています。お近くにお来しの節は、ぜひお寄りいただきご覧ください。

来年度も募集しますので、興味をお持ちの方は、是非登録してください。



通学路に防護柵(ガードレール)完成

志津小学校前の県道大津能登川長浜線、名神岡本跨線橋両側の歩道に、新しくガードレールが設置されました。子ども達の通学時の安全確保のため、以前から志津地区まちづくり協議会が県南部土木事務所に要望して

いたものです。交通量が多く、今までガードレールが無く非常に危険でしたが、1月30日（木）に完成しました。



「忠魂碑」周辺にフェンス完成！

志津小学校の東側にある“忠魂碑”の周辺の土手が崩れ、子ども達にとって非常に危険な状態でした。志津地区まちづくり協議会では、市教育委員会に対してフェンスの設置を要望していたところ、このほど完成しました。

